

平成28年度 第2回仙北市総合政策審議会 概要録

日 時 平成28年11月17日（木）14時～16時
場 所 田沢湖庁舎3階 第1会議室
出席委員 佐藤正美会長、中村正孝副会長、門脇健郎委員、能美忠堯委員、伊藤順委員、池本敦委員、草薨隆委員、新山睦子委員、赤上マツ委員（9名）
欠席委員 なし
市出席者 倉橋副市長、藤村総務部長、小田野地方創生・総合戦略統括監、浅利財政課長、草薨財政課参事、畠山財政課係長、鈴木財政課主任、鶴田財政課主任、藤村地方創生・総合戦略室長、柏谷地方創生・総合戦略室主任
事務局 大山企画政策課長、村瀬企画政策課長補佐

次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 副市長挨拶
4. 審議案件等
 - (1) 仙北市公共施設等総合管理計画について
 - (2) 仙北市庁舎整備基本構想・庁舎整備(素案)について
 - (3) 仙北市総合戦略事業検証報告について
5. その他
6. 閉会

■佐藤会長あいさつ

晩秋の季節となりました。議会で審議された庁舎問題について、ここで良いお知らせになればと思っておりましたがとても残念な限りです。

先にこの審議会の名簿が市の広報に掲載されましたが、市政について、一般市民から話してもらいと頼まれた場面があり、自分がそのような立場になったのかと痛感しています。庁舎問題では、総論賛成、各論反対ということでしょうが、担当職員には、これまで仕事量がかかなりあったことであろうことを思うと残念至極です。社会教育委員の立場にいたときは、総合庁舎は建てるものであるとの認識でした。改めて、むなしい限りであり、本日はこれに伴う案件も予定されているので、委員各位から活発なご意見をいただきますようお願いいたします。

■副市長あいさつ

2回目の審議会となりますが、今回から本格的な議論が始まると思っています。

昨日の無人運転バスの自動走行実験、道路の路面性状モニタリング実験、ドローン教室、温泉を利用したヘルスケアツーリズムなど地方創生特区の具体的な動きが見えてきています。

また29年度の予算編成時期に入っており、みなさまからのご意見を参考にしたいと思っています。市政を取り巻く課題はたくさんありますが、総合戦略事業等の着実な実践により人口減少に歯止めをかけたいと考えています。

庁舎整備について、先の市議会で角館駅前（案）が否決となったことにより、現状では統合庁舎の建設は困難であると考えています。

昨日の議会全員協議会で示した案を、本日ご説明しますが財源的にも負担がかからないようにしたいと考えています。

今週から市内3地区で庁舎整備の市民説明会を開催します。現行の角館庁舎の老朽化は著しく、建設場所の問題はありますが、ある程度角館庁舎に組織を集約して、その他は田沢湖、西木各庁舎に配置することで検討しています。

公共施設等総合管理計画の策定についても重要であり、本日みなさまにご審議をいただき次回の審議会に諮問というかたちでお示ししたいと考えています。類似施設の統廃合などが課題となっています。地域感情も生じると思いますが、解体の経費も莫大なものがあり、なかなか進展がなかったのですが、きちんとした形で見直さなければなりません。これから先を考えて、一定の財源措置も講じられることになっているので、これから先を考えてなくすべき施設、有効活用する施設または民間に活用していただくなど仕分けをしていかなければならないと考えています。

今後の市政運営に影響をあたえる重要な案件ばかりですが、ご審議くださいますようお願いいたします。

■審議案件等

(1) 仙北市公共施設等総合管理計画について

配付資料：仙北市公共施設等総合管理計画素案の概要説明

門脇委員	どのページを説明しているのかわからないのですが、概要説明となるのですか。
浅利財政課長	時間の都合上概要を説明しています。 では、ご質問等お受けしたいと思います。
佐藤会長	概要の説明に対して質問をと言われても質問のしようがないのですが。

藤村総務部長	<p>それでは、改めて内容を説明します。</p> <p>－資料に基づき内容説明－</p>
佐藤会長	<p>現状説明ということで理解しました。取り掛かるのは平成 29 年度からということですが統合庁舎形態が分庁舎方式的な形態になって経費が反比例し逆戻りしたということでのいいのですか。</p>
藤村総務部長	<p>逆戻りというか、最終的に議会の判断です。</p>
佐藤会長	<p>議会は、このことを認識しているか。</p>
藤村総務部長	<p>シミュレーションや資産については議会に説明しています。</p>
佐藤会長	<p>行政側に不満をぶつけるのはお門違いだと認識していますが、今まで耐震のことがあって学校を一番目に整備、次に病院、その次は統合庁舎、これが終わらないと何も手をつけられないと聞いていました。このたび、分庁舎方式的な形態になろうとしています。計画とまた違った方向に進もうとしています。門脇委員はどう思いますか。</p>
門脇委員	<p>少し待ってください。</p>
赤上委員	<p>小さいことですが、子育て支援施設について、先日の広報では上桧木内保育園で 15 人募集するとしていましたが、上桧木内保育園がここに記載がないのはどうゆうことですか。</p>
藤村総務部長	<p>複合施設ということで、多世代交流施設の方に入れていきます。分類と取扱いにより掲載場所が別になります。無くすことではありません。</p>
新山委員	<p>伝承館はどちらにあるのですか。この前から資料をみていますが、見つけられません。</p>
藤村総務部長	<p>資料 62 ページに樺細工伝承館としてあります。</p>

新山委員	<p>消防施設でポンプ小屋があるが、角館地区はお祭り等の行事開催があるために古くても残しておかなければならない必要があると思います。何箇所かを取り壊しても優先的に建て替えるということになるのですか。</p>
藤村総務部長	<p>個別の案件については様々な状況があり、古くて危険なものは取り壊し、必要であればその後更新するということになります。個別の案件については今後様々な意見が出てくるものと思います。</p>
佐藤会長	<p>平成 29 年度から計画が始まりますが、専門の委員会を組織して進めるのですか。それとも優先順位をつけるための査定や耐用年数と利用頻度などの振り分けは職員だけで進めることになるのですか。</p>
藤村総務部長	<p>原案については、職員が作成していますが、具体的な個別計画については、現在利用されている地域や利用者などの意見が重要になります。専門の審議会等は設置せず総合政策審議会でご審議いただきたいと考えています。</p>
佐藤会長	<p>私たち委員に審議は託されるということですか。</p>
藤村総務部長	<p>そうです。 先ず、角館地区の旧老人福祉センターはアスベスト対策があるため早急に解体しなければならないと考えています。 また市営住宅で 50 年以上経過している物件については、住居者が退去した箇所は、新規入居者は募集しないで解体する方向で検討しています。持続するほど経費がかかる一方になるので平成 29 年度には着手したいと考えます。</p>
草薨委員	<p>施設管理と財政面は密接な関係にあります。経過年数や経費を考慮し優先順位を付け、調整しながら審議会に諮ることは賛成します。 16 ページの支出について 10 年間の総額は変わりませんが、人件費が非常に圧縮されています。維持補修費も含むと思われますが、公債費は変わっていません。これは、どのようなシミュレーショ</p>

藤村総務部長	<p>ンをしているのか。将来負担比率をどこまで持っていく考えなの でしょうか。</p> <p>人件費は職員削減によるものです。その減分の経費を事業費に 充当するとい考えです。公債費は、合併してから起債の発行額が 非常に少なくなっているため減少しています。</p>
畠山財政係長	<p>将来負担比率は、現在約 85 となっている。100 をきっているの が望ましく現状を維持したいと考えています。</p>
草薨委員	<p>施設の除却等選択肢を検討してくことになりますが、市民に対 して負担増になるような説明ではなく、現状を踏まえ改善しまけ ればならないという形で比較検討した後の説明をしていただきたい のですが。</p> <p>また、人件費が削減されるなかで行政サービスの低下につなが らないのでしょうか。</p>
藤村総務部長	<p>合併 11 年目になりますが、当時の議論では職員数は多いと言わ れてきました。1,000 人あたりに職員 10 人という一つの目標設定 がありましたので、合併後は職員数の削減に努めてきました。合 併してからの 10 年位は退職者の 1/3 程度の採用としてきました が、ここまでくると行政サービスがたちゆかなくなることも懸念 されるので、現在はそれなりに補充をして調整しています。これ までのように毎年何十人も減らす方向にはなっていません。</p>
佐藤会長	<p>平成 29 年度からこのような方向性で進むと理解しました。</p>
門脇委員	<p>施設の管理について、旧町村単位で老朽化が進み、学校は統合 されてきました。以前、保健センターは毎日のように使われてい ましたが、現在はほとんど使用されていない。使わないよりはいい のですが。田沢や角館の旧小学校を公民館に使用するなど大きな 建物を使用して費用対効果を図ることは誰がみてもおかしいと思 います。今後の利用計画や除却等の振り分けは行政の決断が重要 であると思います。</p> <p>合併後 10 年が過ぎて地域の人たちの要望もあると思いますが</p>

<p>倉橋副市長</p>	<p>建物は老朽化が進むほど維持経費が増加することになるので、好ましい方向には進みません。</p> <p>今は様々な場面で行政と議会の決断力が足りないのではないかと思います。</p> <p>是非、副市長の考えをお聞きしたいのですが。</p> <p>これまで決断に至らなかったのは、財源が担保されないことがひとつの要因でした。取り組むきっかけがつかめなかったのが実情です。ようやく全体を網羅する計画が策定されることになるので、今後は施設を継続して使っていくのか、計画をもとに作業をすすめることとなります。具体的には、旧田沢中学校、田沢湖活性化センター等の体育館は除却の対象になるのではないかと捉えています。上桧木内の学校なども検討していかなければならないと考えています。庁舎関連の施設でも解体して撤去する施設も出てくるし、着実に進めていかなければなりません。少なくともこれまでよりは、よりめりはりをつけて作業が出来るものと考えており、議会にも理解していただかなければなりません。財政上の問題もあるし、老朽化して危険な施設もあるので早急に対応しなければなりません。来年度から具体的に5年から10年スパンで計画を示さなければいけないと思っています。その都度みなさまにご提案し進めていきたいと考えます。最終判断は、議会に予算を提案していくこととなります。現に多くの市民が利用している施設もあるので地域みなさんの理解を得たうえで進めていかなければならないと考えています。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>高齢化が進み自動車免許証を返納する人がいることから、より身近な施設を利用したいという意向が増えることも考えられるので、空き施設などは、安全性を重視してよりきめ細かな説明をお願いしたいです。</p>
<p>門脇委員</p>	<p>学校統合問題については根底に地域感情が生じます。ここまできると経費の問題もあり小中学校の統合問題は避けられない問題です。市長の考え方を少しでも教えていただきたいのですが。</p>
<p>倉橋副市長</p>	<p>小中学校の統合については適正配置等を審議する総合教育会議が設置されています。市長部局の主催となりますが、その中で統</p>

	<p>廃合を考える検討委員会が設置されていて、現在アンケート調査のとりまとめをしています。明日の会議で一定の方向性が示されるものと思っています。</p> <p>アンケート結果だけを見れば、統合等については半々ぐらいの結果がでています。</p>
門脇委員	<p>地域から学校がなくなるのは、寂しいことであり賑やかさがなくなります。上桧木内地区は、現在風船館だけがどうか賑わいを保っている状態です。財政的な問題もあると思いますが、そのようなことも考えながら進めていただきたいと思います。</p>
赤上委員	<p>上桧木内の紙風船館について、住民からの意見を話したいと思います。ここは唯一、地域住民の集いの場所となっています。困りごとなど相談を持ち込んでもなかなか十分なサービスをいただけていない場面も見受けられます。そのような場所にこそ、やる気のある職員の配置を要望する声があります。また、地域と交わられるようなエネルギーのある職員の配置をお願いしたいです。</p>
佐藤会長	<p>学校の問題が出ましたので伊藤委員はいかがですか。</p>
伊藤委員	<p>地域の温度差や年代別の考え方もあるので、建物の除却については難しい問題であると思います。統合は別として、建物の管理については、古いものは壊していくという考えには賛成です。ただ稼働率のあるところは残すべきで、ある程度は地域に委ねなければ行政だけで運営を持続するには今後ますます難しくなるのではないのでしょうか。どこかで住民と行政が連携していくべきではないのでしょうか。学校の統合にしても、西明寺と桧木内を考えた場合、桧木内の人はどう思うか。必ずしも人口の多いところに統合しなければならないことではなく、地域格差や年代格差をどう調整していくのか、行政も市民も意見をまとめなくてはいいけないと思います。</p>
佐藤会長	<p>行政は建物管理、運営は地域でという選択肢も今後は検討していかなければと思います。</p>

	では、審議案件 2 仙北市庁舎整備基本構想・庁舎整備(素案)についての説明をお願いします。
--	---

(2) 仙北市庁舎整備基本構想・庁舎整備(素案)について

事前配付資料：仙北市庁舎整備基本構想・庁舎整備(素案)に基づいて説明

佐藤会長	3 地区での市民説明会は、この資料に基づいて説明するのですか。前段でどうしてこうなったのか、説明を求められるのではないのでしょうか。開催してみなければわからないということでしょうか。
大山企画政策課長	これまでの経緯については、概ね把握されているのではないかと思います。開催を周知してから問合せをいただいています。今回はどのような説明をするのかという内容が多いです。
佐藤会長	説明会に来る方々は、何か意見をもって来る方が多いと想定されるので、よほど準備していかないと答弁が困難になるのではないのでしょうか
中村委員	<p>これまで、市民のなかには、現庁舎をそのまま使うという分庁舎方式がいいのではないかという意見がありました。</p> <p>田沢湖は、スポーツ、観光、宿泊、文化。角館は、観光、文教、商業、経済。西木は、自然、観光、農林業というように各地区の特色を考慮し分庁舎方式でやるのがいいのではという考えを持っていました。</p> <p>しかし、耐震問題などが大変ということなどもあり、統合庁舎の建設地であっちに行ったり、こっち行ったりと、結局は今のような状況になったということではないのでしょうか。角館庁舎を建設するにしても場所がどこになるのか、振り出しに戻るのかなど思っている面もあります。市民説明会が開催されますが、なくしてはいけない施設については、相当きちんとした将来の見通しを持ちながら対応していかないと問題が起きるのではないかと思います。</p>
佐藤会長	B 案をみると職員の数を無理やりバランスよく配置しているように見受けられます。現在、観光商工部が中町庁舎に配置されて

能美委員	<p>いますが、B 案でいくと、観光と商工が分かれてしまうことになってますが。</p> <p>角館庁舎の解体後は、火除けの復元はするのですか。また、市有地になると候補地は限定されると思いますが。</p> <p>現在、市民の窓口は、三庁舎どこでも機能しています。むしろ市民より観光の窓口として観光客が立ち寄りやすい場所に建設すべきではないでしょうか。</p>
倉橋副市長	<p>A、B 案については、たたき台として提案させていただいています。田沢湖庁舎はどちらも現状のままで同じ、問題は、角館庁舎が新しくなった場合、現在分散している市民福祉部をある程度集約したい考えがあります。市民福祉部は、福祉事務所が西木庁舎で市民課は角館庁舎にあり、保健課は健康管理センターに配置されています。これを1カ所にまとめた（案）となります。住民基本台帳や戸籍の交付件数は、角館庁舎が圧倒的に多いのは事実であることは基本的な考え方としてあります。組織再編は、まだ固まっておらずこれから動く可能性があります。まずは議論の始まりと捉えています。</p> <p>市の土地であれば限定されるわけで、では、どこになれば、角館病院の跡地、東公民館、交流センターの周辺、角館高校グラウンドと4カ所が現状です。民有地の活用は、市としては想定していません。駅前案が否決されたのは事実であり、新たな用地取得は想定していません。</p> <p>現状では、市の土地を利用して角館庁舎を建設し、今の庁舎は解体し火除けの復元を図りたいと考えています。歴史的なものを踏まえた復元にするか観光的にするかどうかは、これからの議論となります。</p>
佐藤会長	<p>市民への説明は先ず議会が説明するべきと思います。市当局の責任ではないと捉えています。市民に行政が説明し、議会に報告するのは屁理屈になるのではないのでしょうか。</p>
門脇委員	<p>議会で行われた庁舎建設の採決について、位置がだめになったから廃案としたのですか。</p>

副市長	まず、庁舎の位置が否決となり、次に用地取得の契約案件が否決となったので市から再提案はできないものと判断しました。
佐藤会長	庁舎建設については、模型などを見せて説明すればイメージが湧き、もっとスムーズに運んだのではないかと思います。 住民からの意見を踏まえた庁舎整備案を示していただけになると思いますので、次回の審議会に期待しています。

(3) 仙北市総合戦略事業検証報告について

資料：地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業実施結果報告書に基づいて説明

佐藤会長	9番については、農家民宿など盛んで地方創生のからみもあり注目されていますが、これに反映できなかったのですか。
藤村地方創生 総合戦略室長	農林業の体験というこの事業は、農業部門に特化して募集したところ一人しか応募がなく、移住に結びつけられなかったこともあり、効果が低いと判断されたものです。移住の件数などは、KPIに近づいていました。
佐藤会長	池本先生は、全体的な評価をどう捉えていますか。
池本委員	KPIの達成により、概ね順調だったのではないかと思います。 さらに伸びそうなところに重点的に特化して事業を進めていくのがいいのではないのでしょうか。例えば、2番の無料公衆無線LANの設置は観光地の魅力をアピール出来て非常に有効だったと思います。 その他の事業は、観光というよりは少子化対策や定住対策なので、このような分野はすぐには効果が出るわけではないので地道に取り組むことが重要になると考えます。
佐藤会長	自分の意見は支離滅裂ですが、みなさんから立派な報告をいただいたので満足しています。 今日の会議で他に何かありませんか。
能美委員	外国人観光客が多く訪れていますが、言葉は日本語だけでも対応できているような気がします。

新山委員	<p>高校生など刀を左手にもっている様子を撮影した写真をネットに投稿したり掲載されたりしていますが、とても違和感があります。日本文化を捻じ曲げられているような気がして、そのようなものを海外に向けて発信するのはどうなのかと思っています。刃物を人に向けてというのもどうなのかと思っています。</p>
伊藤委員	<p>定住対策はただ漠然とおこなうのではなく、どの世代にターゲットを置くのか絞ってやったほうがいいのではないのでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>指針を示した方が、移住したい人たちへきちんとしたアピールができるのではないかと考えます。</p>
草薨委員	<p>事務局の方も練りに練った原案を出していることなので、議会への説明等、順序立てには配慮を怠らないようお願いします。</p>
佐藤会長	<p>他にご意見等はありませんか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
佐藤会長	<p>それでは、本日提案されました案件審議は全て終わりました。それでは進行を事務局へお戻しします。</p>
大山 企画政策課長	<p>長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>次回は、1月中の開催を予定していますのでご協力願います。本日はこれで終了します。</p> <p>(16:00閉会)</p>